



校種・教科別ICT活用事例一覧表 (高等学校・国語)

(高等学校学習指導要領(H30告示)解説国語編を基に作成)

	現代の国語	言語文化	論理国語	文学国語	国語表現	古典探究
漢字	p31 ウ 常用漢字の読みに慣れ、主な常用漢字を書き、文や文章の中で使うこと。 個に応じた学習 漢字ドリルのアプリケーションソフトを活用し、漢字の読みや書きについて学習する。	p31 イ 常用漢字の読みに慣れ、主な常用漢字を書き、文や文章の中で使うこと。				
語彙	p32 エ 実社会において理解したり表現したりするために必要な語句の量を増すとともに、語句や語彙の構造や特色、用法及び表記の仕方などを理解し、話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにすること。 調査活動	p32 ウ 我が国の言語文化に特徴的な語句の量を増し、それらの文化的背景について理解を深め、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにすること。	p32 イ 論証したり学術的な学習の基礎を学んだりするために必要な語句の量を増し、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにすること。	p33 イ 情景の豊かさや心情の機微を表す語句の量を増し、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにすること。	p33 ウ 自分の思いや考えを多彩に表現するために必要な語句の量を増し、話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにすること。	p33 ア 古典に用いられている語句の意味や用法を理解し、古典を読むために必要な語句の量を増すことを通して、語感を磨き語彙を豊かにすること。
	辞書のアプリケーションソフトを活用し、様々な語句を取り上げて調べる。					
伝統的な言語文化		p38 ア 我が国の言語文化の特質や我が国の文化と外国の文化との関係について理解すること。 p38 イ 古典の世界に親しむために、作品や文章の歴史的・文化的背景などを理解すること。 p38 ウ 古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまり、古典特有の表現などについて理解すること。 調査活動		p39 ア 文学的な文章を読むことを通して、我が国の言語文化の特質について理解を深めること。		p39 ア 古典などを読むことを通して、我が国の文化の特質や、我が国の文化と中国など外国の文化との関係について理解を深めること。 p39 イ 古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまりについて理解を深めること。
	インターネットを活用して、古典の作品や文章の歴史的・文化的背景などを調べる。					
読書	p40 ア 実社会との関わりを考えるための読書の意義と効用について理解を深めること。 調査活動 発表や話し合い	p40 カ 我が国の言語文化への理解につながる読書の意義と効用について理解を深めること。	p40 ア 新たな考えの構築に資する読書の意義と効用について理解を深めること。	p40 イ 人間、社会、自然などに対するものの見方、感じ方、考え方を豊かにする読書の意義と効用について理解を深めること。	p40 ア 自分の思いや考えを伝える際の言語表現を豊かにする読書の意義と効用について理解を深めること。	p40 エ 先人のものの見方、感じ方、考え方に親しみ、自分のものの見方、感じ方、考え方を豊かにする読書の意義と効用について理解を深めること。
	気になったページを撮影し、表示しながら分かったことを説明する。					
話題の収集、内容の検討	p42 ア 目的や場に応じて、実社会の中から適切な話題を決め、様々な観点から情報を収集、整理して、伝え合う内容を検討すること。 表現・制作 発表や話し合い				p42 ア 目的や場に応じて、実社会の問題や自分に関わる事柄の中から話題を決め、他者との多様な交流を想定しながら情報を収集、整理して、伝え合う内容を検討すること。	
	実社会の中から適切な話題を決め情報を収集、整理して、プレゼンテーションソフトを活用して伝え合う。					
話し合うこと(進め方の検討、意見共有)	p45 オ 論点を共有し、考えを広げたり深めたりしながら、話し合いの目的、種類、状況に応じて、表現や進行など話し合いの仕方や結論の出し方を工夫すること。 意見整理				p46 キ 互いの主張や論拠を吟味したり、話し合いの進行や展開を助けたりするために発言を工夫するなど、考えを広げたり深めたりしながら、話し合いの仕方や結論の出し方を工夫すること。	
	考えたことを入力し合い、共有した意見を共通点や相違点などについて分類してまとめる。					
話すこと・聞くこと	p47 ウ 話し合いの目的に応じて結論を得たり、多様な考えを引き出したりするための議論や討論を、他の議論や討論の記録などを参考にしながら行う活動。 表現・制作 発表や話し合い				p47 ウ 異なる世代の人や初対面の人にインタビューをしたり、報道や記録の映像などを見たり聞いたりしたことをまとめて、発表する活動。	
	異なる世代や初対面の人にインタビューをし、それを動画にまとめ発表する。					
	p47 エ 集めた情報を資料にまとめ、聴衆に対して発表する活動。 調査活動 表現・制作				p47 オ 設定した題材について調べたことを、図表や画像なども用いながら発表資料にまとめ、聴衆に対して説明する活動。	
	インターネットを活用し、文章や図表などを引用してレポートやリーフレット、案内状や新聞などにまとめる。					

書くこと				<p>p54 エ グループで同じ題材を書き 継いで一つの作品をつくるな ど、共同で作品制作に取り組 む活動。</p> <p>表現・制作</p> <p>共同編集機能を活 用し、グループで一 つの作品制作に取り 組む。</p>	<p>p54 エ 紹介、連絡、依頼などの実 務的な手紙や電子メールを書 く活動。</p> <p>表現・制作</p> <p>電子メールなどを 活用して自分の考え や気持ちが伝わるよ うに返事を入力する。</p>	
精査・解釈	<p>p57 イ 目的に応じて、文章や図表 などに含まれている情報を相 互に関係付けながら、内容や 書き手の意図を解釈したり、 文章の構成や論理の展開など について評価したりすると ともに、自分の考えを深めるこ と。</p> <p>表現・制作</p>	<p>p57 エ 作品や文章の成立した背景 や他の作品などとの関係を踏 まえ、内容の解釈を深めるこ と。</p>	<p>p58 オ 関連する文章や資料を基 に、書き手の立場や目的を考 えながら、内容の解釈を深め ること。</p>	<p>p58 オ 作品に表れているものを見 方、感じ方、考え方を捉える とともに、作品が成立した背 景や他の作品などとの関係を 踏まえ、作品の解釈を深める こと。</p>		<p>p58 エ 作品の成立した背景や他の 作品などとの関係を踏まえな がら古典などを読み、その内 容の解釈を深め、作品の価値 について考察すること。</p>
<p>プレゼンテーションソフトを活用して、写真や文章、イラスト、音、アニメーションを用いて、場面の展開や登場人物の相互関係、心情の変化などを表現する。</p>						
読むこと		<p>p61 エ 和歌や俳句などを読み、書 き換えたり外国語に訳したり することなどを通して互いの 解釈の違いについて話し合っ たり、テーマを立ててまとめ たりする活動。</p> <p>意見整理</p> <p>互いの解釈を入力 し合い、共有した意見 を共通点や相違点な どについて分類して まとめる。</p>				